

2019年11月28日

京王プラザホテル ニュースリリース

京王プラザホテル フィーチャー100
～おもてなしの裏側にある、ちょっといい話～

京王プラザホテル（東京：西新宿、社長：山本護）は、2021年に開業50周年を迎えます。そこで、世界各国からお客様をお迎えし、心に寄り添うサービスを提供するホテルとして私たちのおもてなしに秘められたエピソードを100回シリーズでお届けしてまいります。

■VOL. 54 「心のバリアフリー」で、どなたにも安全・快適なホテルライフを

「あらゆる人が集い憩う広場〈プラザ〉でありたい」という「プラザ思想」を基本理念として掲げてきた京王プラザホテル。開業以来、国籍や年齢、障害の有無を問わずお客様をもてなしてきた姿勢は、まさにユニバーサルサービスの考え方と通じます。そのなかで、施設や機器などハード面のバリアフリー化はもとより、障害のあるお客様やご高齢のお客様への適切なサポートをはじめ海外のお客様へのきめ細かな対応など、ソフト面での取り組みである「心のバリアフリー」を長年にわたりホテル全体で追求してきました。2013年から従業員教育に積極的に取り入れてきた一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会主催の「ユニバーサルマナー検定」取得もその一例（2019年10月末時点で284名が取得）。「自分とは違う誰かの視点に立ち、行動する人を育てる」というカリキュラムで身につけたマインドと行動を、日々のホテル業務に役立てています。2017年にはその継続的な取り組みが評価され、「ユニバーサルマナーアワード」にてサスティナビリティ賞を受賞。さらに2018年には、「心のバリアフリー」に対する意識・啓発等に取り組む企業として『東京都「心のバリアフリー」サポート企業』150社のなかで登録されるとともに、特に優れた取り組みをしている企業として、ホテル業界では初めて『東京都「心のバリアフリー」好事例企業』に選定されました。「ハード（設備や機器）を変えることは難しくても、足りないところはいくらかでも人のちからで補っていきける」決められたサービスではなく、お客様1人ひとりに寄り添い、時にはお声がけを、また時には見守るスタッフの、そんな想いが込められた「心のバリアフリー」は今、京王プラザホテルの魅力の一つとして確かな実を結んでいます。



■VOL. 55 世界の舞台へ続々挑戦、京王プラザホテルのバーテンダー

オリジナリティあふれる一杯のカクテルに、渾身の力と想いを注ぐバーテンダーのコンペティション。京王プラザホテルのバーテンダーたちはこれまでも幾多の大会で栄誉を勝ち取ってきましたが、それは国内にとどまらず世界へと広がっています。バーテンディング力や創造力はもちろん、即興性やコミュニケーション力がより試される国際大会。世界の強豪の中で存在感を示すことは、容易なことではありません。

近年の国際的コンペティションでは、カクテル創作を目の前で披露するだけでなく、ヘッドフォンマイクを付けて自らが説明するプレゼンテーション形式が主流となっています。京王プラザホテルでは2017年より、社内のバーテンダーが腕を競う「カクテルアワード」でいち早くその方式を採用し、今後グローバルな大会を目指すバーテンダーに300名のお客様の目の前で発表する機会を与えています。

京王プラザホテルが誇る歴代バーテンダーの挑戦の系譜は、今や世界へとその舞台を広げ、若きバーテンダーたちに受け継がれていくのです。



本件に関するお問合せ先：

株式会社京王プラザホテル 営業戦略室 企画広報 杉浦 陽子・小田 力・濱谷 愛美

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 www.keioplaza.co.jp

Tel 03-5322-8010 Fax 03-3346-2479